稲田　覺議員

今、国の構造改革が展開され、その一環として、平成の大合併が推進されている。その目的は、地方分権の確立、三位一体の改革による国と地方の財政再建及び高齢化、少子化への対応などである。

宇城市はどうあるべきか、どうすべきか三つの大事な事項について、質問を行う。

道路交通網の整備について

問　旧5町の交通の円滑化と隣接市町との接続対策をどのように考えているか。

市長　地域産業の発展や新市交流の促進、連携強化を図るために国道、県道、市道を総合的なネットワークとして整備する必要がある。現在10箇年計画の中で、1 54本の路線整備を計画している。国庫補助、合併特例債など、特定財源を有効に活用し、整備促進に努力してまいりたい。

農業振興対策について

問　贈与税納税猶予で農業の法人化に特例が実現した。宇城市の農業も構造改革をしなければならない必要があると考える。今後、市長はどう取り組もうと考えているのか。

市長　地域の担い手の経営改善計画を進め、認定農業者を核に集落営農や農作業受託組織の組織化を進め、これらの農業法人化を推進したいと考えている。

観光振興対策について

問　数多くの名所、旧跡、景勝地及び文化財が点在している。そこで今後眠れる観光資源をどのように開花していくのか。

市長　宝の山を掘り起して磨き上げることが、まず大事である。観光事業については、いろいろの団体の支援を受けながら、全市挙げて取り組むべき課題と思っている。

◆◆◆